



NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (☎080-4540-3553)

3月の「どんぐりsカフェ」から

住民による住民のための「住民バス」

3月17日の「どんぐりsカフェ」は、瀬戸市菱野団地の地域住民による「住民バス」運行の、半年にわたる社会実験について、伊藤勉八幡台自治会会長と担当者の方から、それまでの経緯と今後に向けての話をうかがった＝写真。

伊藤会長は、10年ほど前から市に対し、菱野の3団地が公共交通の空白地域であり、その解決を働きかけていた。その間この地区の高齢化が進み、瀬戸市もその現状を認識して住民によるバス運行の「住民バス」の社会実験をして



役員会から（3月17日）

- 「どんぐりs」の2018年度総会の開催日が5月27日(日)に決まった。3月の定例役員会では、その総会に向けて、今期の活動方針(総会承認)にもとづき、成果と課題について協議した。成果としては、行政との連携によるすまい相談や環境整備への取組みが進展したこと、また、これまで“学び”を主体とした「どんぐりsカフェ」が多かったが、「うたごえサロン」やコンサート、あるいはお互いに自由に意見交換できる座談会形式を取り入れるなど、“交流”に主体をおいた企画が増えた点が挙げられる。
- また、「活き活き楽農会」に若い世代の入会が増えたことも成果として挙げる事ができる。その一方で、すまい相談件数の伸び悩み、ホームページの改修作業の立ち遅れ、アンケートによる会員意見集約、会員拡大や活動拠点の確保については、引き続き来期の課題として持ち越すことになる。
- 「どんぐりs」も来期は11年目に突入する。広く皆さんの声をお聞きしながら、さらなる発展をめざしたい。総会の場がそのスプリングボードになることを願っている。
(理事長・藤城 栄一)

はどうかという声がかかったという。バスは、電気式バスとワゴン車の2台で3団地内を周回する。平成29年7月から12月まで実施され、延べ約5,000人と多くの利用者があった。この間、地域のコミュニティー度も上がるなど思いがけない効果もあり、好評のうちに終了した。

その後、バス運行を続けてほしいという要望もあり、今年6、7月ごろから本格的な運行が予定されている。ただ、この運行は、市から約85%の助成金と3団地からの出金によりようやく成り立つという。このことは住民によるバス運行の困難さが示されているものの、地域になくってはならない交通手段として今後の進展が期待される。
(長谷川 光男)

どんぐりs総会、5月27日開催

- 2018年度(第11期)「NPO法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議」(どんぐりs)の総会を5月27日(日)、東部市民センター3階視聴覚室にて開催いたします。なお、同日、会員以外の方もご参加いただけるイベントを計画中です。詳細は追って「ふれあいだより5月号」やチラシ等でご案内いたします。

うた声サロンで交流も 今年度の「どんぐりsカフェ」

“学び”と“交流”の場「どんぐりsカフェ」は、今年度も総会開催の5月を除く11回、東部ほっとステーションを会場に開催された。テーマは、まちづくりに関するもの5回、高齢者の暮らしに関するもの4回、歌や音楽の集い2回であった。今年の大きな特徴は、これまでの講演&質疑といった形式から脱皮して、参加者同士の自由な意見交換形式＝座談会形式（因みにテーマは“健康で長生きする食事を考えよう”）を取り入れたこと、ニュータウン及び周辺で活躍している演奏者を招き、“父の日コンサート”と“うたごえサロン”を開催したことなど、文字通り“交流”にふさわしい場を提供できた点にある。いずれも参加者にも好評で、カフェの今

私の朝・昼・晩

究極の「終活」？

評論家の西部邁さんが、1月21日に多摩川で入水自殺したという新聞記事に目がひきつけられた。享年78歳、奥さんを4年前に亡くし、体調もよくなかったようだ。自著で「生の最期を他人に命令されたり弄（いじ）り回されたくない」と「自裁死」の意義を書いており、その通り実行したとみられる。

団塊世代が70歳台に入り、厚労省の調査では2025年には、730万人の認知症老人が巷に溢れるという。これらの人をすべて介護するなどにはまず無理だろう。72歳の私としても、他人事ではない。人生の最後をオシメ姿でベットに縛りつけられてはたまらない。

生まれる時は選択できなくとも、死ぬ時は自分で決める「自由死」を認めてもらいたい。医師などを自殺ほう助罪から免責することも必要だ。国が楽に確実に死ぬ錠剤を開発し希望者に配ってくれれば助かる。「見るべきものは見つ」と人生に見切りをつけ、薬を飲む姿も結構イキなものだ。息子や社会のお荷物になるのはまっぴら。こんな政策を掲げる政党が出てくれないだろうか。（明賀 雄二）



春爛漫（いなべ市農業公園梅園） 森 健

後の方向性を考える上でのいい機会となった。また、高齢者の暮らしに関する勉強会、愛知建築士会助成金を活用した2回の“まちづくりセミナー”、“高蔵寺ニュータウンのルーツを探る”中学校社会科研究授業報告、瀬戸市菱野団地「住民バス」社会実験報告も、“学び”の場の提供としての役割を果たすことができたと考えている。（藤城 栄一）

4月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：「最近の葬儀事情」

講師：宮田全裕氏

（シャオン高蔵寺代表取締役）

日時：4月21日（土）、13:30～16:00

会場：東部ほっとステーション（アピタ南館1階） 参加費：200円

4月の「高齢者・すまい無料相談」

●電話か又は直接面談会場にお越しください

☎080-4540-3553（どんぐりs事務局）

面接相談会日時：4月8日（日）、22日（日）

（ともに13:30～16:00）

会場：東部ほっとステーション

4月の「大人のたまり場」

日時：4月11日（水）25日（水）

（ともに13:00～16:00）

会場：「大人のたまり場」

（高森台6丁目東高森台集会所そば）

参加費：200円。

連絡先：080-4540-3553（どんぐりs事務局）